

転写禁止

ELICビジネス&公務員専門学校

自己評価報告書

平成28年度

記載責任者 塚本 紀之

記載者 木村 公一

平成29年3月17日現在

目 次

I	学校評価の意義	1
II	学校評価の流れ	1
III	学校評価者	1
IV	学校の教育目標	3
V	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	3
VI	評価項目の達成及び取組状況	5
	(1) 教育理念・目的・人材育成像	5
	(2) 学校運営	6
	(3) 教育活動	7
	(4) 学修成果	9
	(5) 学生支援	10
	(6) 教育環境	11
	(7) 学生の受入れ募集	12
	(8) 財務	13
	(9) 法令等の遵守	14
	(10) 社会貢献・地域貢献	15
	(11) 国際交流	16

I 学校評価の意義

ELIC ビジネス&公務員専門学校では、学生、保護者等のアンケートをもとに自己評価を作成していたが、これを全面的に見直し、文部科学省の「学校評価ガイドライン」に沿って、実行及び検証を行うことで自己評価報告書を作成し、この学校評価を適正な学校運営と教育改革に取り組む一助とする。

II 学校評価の流れ

①自己評価担当者から各教職員へ現状と問題点の洗出しを依頼し、各項目を総合的に評価する。②自己評価担当が評価内容の分析を実施し、自己評価報告書（案）を作成する。③自己評価委員会を開催し、提起された課題点に対しての改善方針を定め自己評価報告書を完成させる。④自己評価報告書の内容を学校関係者評価委員会にて検証する。⑤学校評価報告書を作成し、学園本部に提出する。⑥学校評価報告書の必要項目をホームページにて情報公開する。

III 学校評価者

①自己評価

ELIC ビジネス&公務員専門学校のすべての教職員が「自己評価者」となり、自己評価を実施する。自己評価担当者が内容をまとめ、自己評価報告書を作成する。

【自己評価者】

校長	塚本 紀之	教諭	坂下 祥太
教務部長	吉田 隆二	教諭	田口 和吉
事務長	中根 重松	教諭	徳永 好宣
教務主任	木村 公一	教諭	水本 貴久
指導主任	加藤 佳明	事務職員	小島 祐子
教諭	神谷 貴禎		

以上 11 名

【平成 28 年度自己評価担当者】

自己評価担当者は、次の本校教職員で構成される。

教務主任	木村 公一	
教諭	神谷 貴禎	
事務職員	小島 祐子	以上 3 名

②自己評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校自己評価委員会は、次の本校教職員で構成される。

校 長	塚本 紀之	
教務部長	吉田 隆二	
事務長	中根 重松	
教務主任	木村 公一	以上4名

③学校関係者評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校に関係している多様なステークホルダーであり、多角的方面より評価をいただく。構成する関係者は次のとおりである。

在学生保護者	2名	
本校卒業生	2名	
学生就職先	1名	
地域関係者	1名	以上6名

IV 学校の教育目標

ELICビジネス&公務員専門学校は、28年度、次の2項目に集中する。第1は募集である。全教職員が募集に関わり、創意工夫することで成果に繋ぎ、それを評価対象とする。第2はマナーコミュニケーション科の再構築である。この2年間を総括し、再度目指すべき方向を模索し、本年度中にその成案を作成する。そして、平成30年度からスタートできるよう準備を始める。

V 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 学校ブランド力の強化

- (1) 公務員、医療事務、システムエンジニアなど、ELICを通じてたどり着ける職業を明確に示し、その職業に向かった授業内容とキャリア形成の手法を特化させ、広報する。
- (2) ELICで27年度に実践した教育手法の検証と見直しを行う。具体的にはマナー科における実践的授業、公務員科の学力別授業、事務科およびマナー科のインターンシップおよび社会人講義、また全科に渡るボランティアについて、検証とともに再度方向性を明確にする。そして広報に結びつける。
- (3) 校友会との関係を強化する。年1回の総会だけでなく、卒業生来校の機会や集まりの機会を増やす。そして、関係充実をアピールする広報を検討する。
- (4) 学校からの情報発信を充実させる。SNSによる広報の頻度を高める。コミュニケーションに学生の意見を入れる。また、ELIC新聞「絆—KIZUNA」（発行8年目）を継続し、広報効果を付加する。

2. 在学学生の安定的確保

- (1) 公務員科は「実績」、マナーコミュニケーション科は「意味ある楽しさ」、事務スキルスペシャリスト科は「資格と専門性」、そしてELICとしては「就職・公務員・大学編入」「面倒見」「ビジネスマナー」という特化項目を意識した広報を展開する。広報可能な実績作りのために全教職員が知恵と努力を注ぐ。
- (2) ブログ、ツイッターなどSNS広報の情報発信を増加する。ガイダンス、入学相談、体験入学、パンフレット、ブログ、雑誌媒体、新聞広告、ホームページなどあらゆる広報手段の方法と組み合わせについて検証し、改善を加える。
- (3) 従来からの募集方法だけでなく、高校生を来校させるイベントの充実、高校との関係作り、保護者との関係作り、マスコミ利用などの知名度を向上させる。そしてSNSでも広報する。

3. 財政基盤と管理運営の確保

- (1) 全ての教員に学校運営職務を配分し、遂行状況を確認し、評価に反映する。
- (2) 全教職員にコスト意識を徹底させ、節約に努める。ただし、必要な予算については、十分検討の上、項目重点的な支出を考える。
- (3) 管理運営のため、学校運営組織の改善と運営担当者を明確化する。それに伴い個人目標の明示、評価の基準とする。
- (4) 教職員の職務記述書に記述された「職務の棚卸」について改善が必要な項目を選別し、実行する。

4. 教学改革の努力

- (1) 「公務員科の合格させる教育力と飛躍的な向上」のための実績を出す。そして広報する。
- (2) 「新学科（マナー科）のプロ養成カリキュラムと就職システムを開発・確立」のための具体的実施項目を定め、実践する。そして広報する。
- (3) 「統合学科（事務科）の資格取得力と就職力・進路決定力を早期に向上」のための具体的な実績を出し、それを広報する。
- (4) 従来からの職業指導体制を改編し、新手法を取り入れる。新たなキャリア支援体制の充実に努める。
- (5) 専任教員による躰教育を前年度に引き続き充実させる。
- (6) 入学者数、退学率の目標値達成に向けた数値の明示、結果の把握、評価への反映を丁寧実践する。
- (7) 必要に応じて教員の資質向上に向けた研修参加を促す。

5. 学生・生徒に対する学習、生活支援と広範な利害関係者との連携強化

- (1) プロとして通用する人材の育成を目指し「面倒見の徹底」をする。そして実行状況を把握し、評価に結び付ける。
- (2) 学生の希望に合ったインターンシップを実施し、職業意識の向上に努める。
- (3) 社会の様々な職業を学生に伝えるため、社会人講師、卒業生を積極的に利用する。
- (4) 校友会との連携を基に、双方にとってメリットある方策を検討する。
- (5) ステイクホルダー（学生、保護者、非常勤講師、業者、就職先、地域、高校など）との連携強化策の検討、改善、実施を図り、成果の確認を行う。

6. 施設等教育環境の整備・充実化

- (1) 学生の学習理解を深めるため、教育機器、教育教材を充実させる。
- (2) 環境アメニティに配慮した施設・設備の改修に努める。
- (3) 危機管理体制確認と周知を定期的実施する。従来からのマニュアルを実効性のあるものに修正する。

VI 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3.9
b. 学校における職業教育の特色は何か	3.5
c. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.0
d. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業者・保護者等に周知がなされているか	3.2
e. 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2.9

①課題

特になし

②今後の改善方針

特になし

(2) 学校運営

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7
b. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.7
c. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.4
d. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.8
e. 教務・財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか	3.4
f. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.0
g. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.1
h. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1

①課題

特になし

②今後の改善方針

特になし

(3) 教育活動

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.5
b. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.1
c. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.8
d. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.6
e. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.0
f. 関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2.2
g. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.4
h. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.6
i. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8
j. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.3
k. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.0
l. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.6
m. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.4
n. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.7

①課題

- e) 関連分野の企業・関係施設や業界団体との連携が弱いため、社会ニーズ、企業が求める人材像やスキルなどの情報収集が不十分であり、教員に合わせた科目編成になっている部分がある。
- f) インターンシップは実施されているが、効果が計られていない。また、授業期間に実施されているため、検定試験に影響がある。長期休暇に実施するなど検討が必要である。
 - ・学生の意識レベルが低く、意識改革をする必要性がある。
- h) 学校の評価を外部機関（企業や高校）に判断していただけるほど関係構築ができていない。
- l) 専門分野の優れた人材の確保には費用が掛かり、費用対効果の評価が難しい。
- m) 先端的な知識・技能等を修得するための研修、指導力を向上させる研修などを受ける機会が時間的に難しい。

②今後の改善方針

- e) 社会ニーズや企業が求める人材像などの情報をまとめ、年に1回職員会議で全体に周知する。（11月職員会議を予定）
- f) 効果的なインターンシップを行う手法を再検討する。
 - ・「職業指導」「キャリアデザイン」の授業を通じて職業意識を高める努力を継続する。
- h) 学校を理解してもらい、情報発信を推し進める。
- l) 非常勤講師の評価を充実させる。
- m) 上長から外部研修を紹介し、教職員の資質向上に努める。

(4) 学修成果

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 就職率の向上が図られているか	3.3
b. 資格取得率の向上が図られているか	3.0
c. 退学率の低減が図られているか	3.1
d. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.9
e. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.7

①課題

特になし

②今後の改善方針

特になし

(5) 学生支援

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7
b. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.7
c. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.5
d. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.7
e. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1
f. 学生の生活環境への支援は行われているか	3.0
g. 保護者と適切に連携しているか	3.3
h. 卒業生への支援体制はあるか	2.9
i. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.4
j. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・就業教育の取組が行われているか	2.6

①課題

- i) 社会ニーズの収集が不十分である。
・ビジネスマナー、躰の面で、社会人を基準にすると甘い面がある。
- j) 就職講話・高校の説明会にも積極的に参加しているが、レベル・ニーズの調査が必要である。

②今後の改善方針

- i) 社会ニーズや企業が求める人材像などの情報をまとめ、年に1回職員会議で全体に周知する。(11月職員会議を予定)
- j) 高等学校の先生方との意見交換の機会を設ける。

(6) 教育環境

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.3
b. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	2.7
c. 防災に対する体制は整備されているか	3.4

①課題

a) windows10 のアップデート後、回線の調子が悪く、授業に支障をきたしている。

②今後の改善方針

a) 早急にネットワークの調査を実施し、改善する。
・ 3月末に回線の切り替え（100Mbps から 1 Gbps に変更）作業を実施し、4月からは、VPNの速度を 10 倍にする。

(7) 学生の受入れ募集

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.2
b. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.3
c. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.8
d. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.5

①課題

特になし

②今後の改善方針

特になし

(8) 財務

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	2.8
b. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5
c. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.7
d. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.5

①課題

特になし

②今後の改善方針

特になし

(9) 法令等の遵守

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評 価 項 目	評価
a. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
b. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.4
c. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.1
d. 自己評価結果を公開しているか	3.1

①課題

特になし

②今後の改善方針

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
b. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.7
c. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.5

①課題

- c) 教育訓練を受託するため体制を整える必要がある。
 - ・ 近隣住民や団体に恩返しができるようなセミナーを検討する必要がある。

②今後の改善方針

- c) 地域のニーズと学校が提供できる項目の刷り合わせを実施する。

(11) 国際交流

「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」

評価項目	評価
a. 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2.8
b. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.4
c. 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.4
d. 学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	2.6

①課題

特になし

②今後の改善方針

特になし